



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



ロータリーの心を
Rotary International

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1997-'98

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 犬飼栄輝
事務所 〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄グランドホテル14階417号室
TEL 052-561-0020 FAX 052-561-0021

写真提供：名古屋市東山動植物園



1998.5.20 No.12
国際大会開催[6月]

心の引き継ぎを

1997～'98年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝



風かおる若葉の季節です。

去る5月1日には江南市・曼陀羅寺での東尾張分
区会長・幹事会にお招きいただき、10RCすべてに
本年度R.I会長賞を伝達いたしました。

今年は花が例年よりずい分早く、お目当ての藤
はもうほとんど終わっていましたが、そこは「花よ
り田楽」と切替えて、楽しい一刻となりました。

5月4日にはGSEの提携先であるブラジルの4430
地区森ガバナーご夫妻が来名されました。

サンパウロ州日系市長・商工会長の訪日団とご
一緒のようでしたが、とくにお時間をいただき、
有志で晩餐会を開きました。

5月6日には、知立RCの知立セントピア・ホテ
ルへの例会場および事務局移転記念パーティに出
席させていただきました。会員ご家族お揃いのな
か、大変なごやかな雰囲気でした。

続いて5月10日「母の日」には、西尾文化会館で
の西尾RC創立40周年記念式典にお招きいただき、
本田・西尾市長とご同席の榮に浴しました。

多彩な記念行事のなか、なくなられた歴代会長
ご夫人6名による「ロータリーの思い出」と題する
トークには、深い感銘を受けました。

風雪40年、この長い歴史のなかには、人それぞ
れの思いと「自分史」がいっぱいつまっているこ
とを教えられ、それが積もり積もって今のクラブ
の活力になっていることが、よくわかりました。

さて春から6月にかけて、世の中は転勤のシーズ
ンです。新聞には毎日のように会社やお役所の人
事異動の記事がのっています。転勤と一緒に必ず
ついてくるのが、引き継ぎです。

ロータリーも当地区ではこの5月23日の「次年度
のための地区協議会」で、新しいガバナー方針お
よび地区の具体的指針が示された後は、会長・幹
事・委員長ほかいろいろなレベルでの引き継ぎが
一斉に始まります。

会社でも、ロータリーのような組織団体でも、
引き継ぎは非常に大切なことです。特に1年任期の

ロータリーの場合、引き継ぎが充分行なわれない
と、具体的な方針が年度毎に孤立化し、継続性が
失われてしまいます。新年度の方針は、前年度ま
での先輩役員の努力と実績をよく学習、検討した
うえで取捨選択を加え、R.I会長やガバナー方針に
もとづいて決定してほしいと思います。

引き継ぎのポイントを3つほどに要約します。

○まず引き継ぎは口頭でなく、必ず文書で、でき
れば便箋何枚かで行ないましょう。つまり何を
引き継いだか、またどのように引き継いだかを
後で誰が見ても分かるよう、はっきりさせてお
きたいと思います。

○次にもっと大切なことは、マイナスの引き継ぎ
です。例えば会社のなかでの報告とは、イヤな
ことや辛いことから、早く正直に報告すること
です。まして引き継ぎは、全部の仕事を明け渡
す訳ですから、いい加減なウヤムヤ申し送りは
許されません。これはロータリーでも同じだと思
います。いろいろな事実を包みかくさず引き
継いで、対策を話しあってください。

○最後にもっとも重要なこと、それは心の引き継
ぎです。これまで預かってきたクラブ役員とし
ての任務に、自分がどんな考えで取り組んでき
たか、その処を充分に引き継ぎましょう。う
まくいった事、いかなかった事、努力したがで
きなかった事、もう1年任期があったらやろう
と思っていた事。文字では表わせない冷静な反
省と、将来への思い入れこそ引き継ぎの生命で
す。引き継がれる方も、積極的に質問して、先
輩の胸の内をよく汲みとってほしいと思います。

ロータリーだけでなく、企業やあらゆる組織の
仕事は、引き継ぎで人が代わることにより、新し
いエネルギーを得ることが多いと思います。

ロータリーの歴史と伝統は、1人1人のやる気と、
歴代限りなく続く真剣な心の引き継ぎで、永遠の
生命を吹き込まれるのです。

西三河第二分区IM開催報告

西三河第二分区 分区代理 杉浦 重行



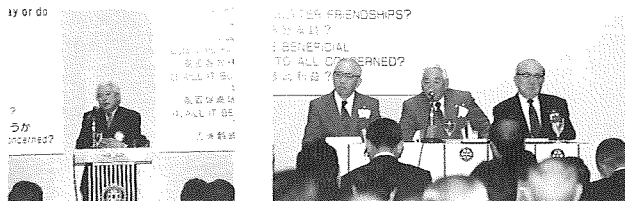
四つのテストを考える

「分区の地区大会」と犬飼ガバナーがおっしゃいましたインターシティミーティングを、この西三河第二分区でも平成10年3月28日(土)13:00より、ホストクラブ高浜RCの例会場、衣浦グランドホテルで開催しました。

当日は犬飼ガバナー、盛田パストガバナー、内藤ガバナーノミニー、野村次期ガバナーノミニー、ホスト高浜RCのシニア・アクティブ会員で地元高浜市の森市長をはじめとするご来賓のみなさま、そして刈谷、安城、西尾、碧南、一色、知立、西尾KIRARA、高浜の8クラブより総勢340名にのぼるロータリアンの出席がありました。

今年はIMのテーマを「四つのテストを考える」と定め、コンセプトを『21世紀を目前にして、新世紀の輝やかな繁栄を目指すためには、様々な問題が山積されている今日この頃、この難関を乗り越えるために、ロータリー本来の職業奉仕に基づく奉仕の理念について、原点でもある四つのテストに示されている行動規範に関して、一人一人の職業観からみて、活発な百家争鳴のディスカッションを展開してみよう』としました。IM実行委員会の神谷昭司職業奉仕委員長のもとで、英文の翻訳と中国語を叩き台にして、犬飼ガバナー、盛田パストガバナー、内藤ガバナーノミニーのアドバイスをいただきながら全員参加のフォーラムとなりました。また各クラブから忌憚のない率直な質問もあり、犬飼、盛田、内藤アドバイザーの当意即妙なお答を戴いて論議が一段と盛り上がり、格調の高いミーティングになったとの評価を皆さんからいただきました。

過去の「IGF」から今日のIMに至ったこの勉強会を振り返ってみますと、「クラブ・社会・国際・職業」の四大奉仕部門を中心としたテーマの討論が



主体で、全般に総花的な論調となり、また持ち時間の制約もあって、勢い議論が散漫となる嫌いが無きにしもあらずでした。しかし、今回は「四つのテスト」の一点に絞っての集中討論で、深く考察して戴けたのがなによりと我々IM実行委員会では自画自賛して居ります。この試みは、まことにオーソドックスな取り組み方で代り映えのしない所もありましたが、これもホスト高浜RCの伝統に依る手作りのIMであります。しかし幸いにも犬飼ガバナーより身に余るおほめの講評を賜わり関係者一同、ほっと胸を撫で下した次第であります。

第二部の懇親会の席には、遠来の客「GSEブラジルチーム」の豊田淳治リーダーを始め、ルイス・エドワルド・ペッセ・デ・アルーダ（州軍事警察大尉）、アニツキ・コロソフリー（銀行マネージャー）、アンドレイア・モレイラ（保育園教師）、内山カシア（歯科医師）の5名のメンバーを迎えて、図らずも来日歓迎パーティを兼ねた国際親善の集いとなりました。参加した西三河第二分区のロータリアン各位も和やかな雰囲気の中かで親睦を深め、まさに国際ロータリーに相応しい国際色の豊かな印象深いひとときを楽しんで戴けたと思います。

ホストした高浜RCのIM実行委員会からロータリアンの皆様の好意と友情のご協力に対して心から感謝を申し上げますとともに、このご報告を通じて改めて厚くお礼申し上げます。



GSEブラジルチーム来日歓迎パーティを兼ねた懇親会

尾張第一分区I.M報告

尾張第一分区 分区代理 河合 博文



第2760地区尾張第一分区IMは「WCS」をテーマに下記概要で開催致しました。

(記)

開催日 平成10年3月29日
 場所 名鉄ニューグランドホテル
 参加者 380名
 特別出席者 犬飼 栄輝ガバナー
 内藤 明人ガバナーノミニ
 田中 徹パストガバナー
 松本 宏パストガバナー
 地区出席者 9名
 ホストクラブ 東海ロータリークラブ
 (プログラム)

第一部 新入会員研修会 13:00~14:00
 講師 田中 徹パストガバナー
 松本 宏パストガバナー

第二部 式 典 14:30~15:15

第三部 ミーティング 15:30~16:30

テーマ「WCS活動の現状と今後」

コーディネーター

鶴田 欣也 WCS(小)委員長
 パネラー

竹倉 鍵治 半田RC
 谷川 和親 常滑RC
 久野 量三 東知多RC
 中井 愛 半田南RC
 早川 幸生 知多RC
 安藤 友光 東海RC

第四部 懇 親 会 16:50~18:30

第一部の新入会員研修会には67名の出席を得て、田中PGからは最近10年間のロータリーの変遷につい

て、松本PGからはロータリーの原点について、それぞれ貴重なお話をいただきました。

第二部の式典では犬飼ガバナーより御挨拶を賜り、引きつづき第三部のミーティングに移りました。

ミーティングでは鶴田委員長のコーディネートで、各クラブから現況並びに今後のあり方について発表があり、尾張第一分区のWCS活動について話し合いが行われました。クラブによって活動に差はありますが、それぞれに意義のある活動が行われている事が心強く感じられました。

第四部の懇親会は「これがロータリーの原点」とばかり盛り上げるパーティーを目ざして色々と趣向を凝らして計画致しました。東海RCが独自に交流を重ねているタイの3360地区の4つのRCから10名のロータリアンを迎え、パーティーに御招待しました。さらにガバナー賞、分区代理賞、各クラブ会長賞等多くの商品を用意して抽選会を催し、最後までにぎやかに歓談をいただき大変盛会のうちに幕をとじる事が出来ました。

私共のIMが、本年度の地区での最後の開催となりましたが、グレン・W. キンロス会長の「ロータリーの心を」を胸にきざみ、分区のロータリアンの益々のご発展を心から願って活動をさせていただいております。

最後に犬飼ガバナーの強力なリーダーシップのもとでニューリーダーシッププランが実行され、その成果が着実に現れている事に心から敬意を表したいと思います。



1998～'99年度のための 会長エレクト研修セミナー開催

次期地区副幹事 安藤 友一



4月7日(火)午前10時よりホテルキャッスルプラザにおいて、会長エレクト研修セミナー(PETS)が開かれた。

第2760地区内76クラブの会長エレクトと次年度幹事が招集され、それに次期地区役員が加わり、約200名が参加した。

小林伸次期地区副幹事の司会で進行し、まず、岩間次期地区幹事が野村重彦次期ガバナーノミニ、神戸政治次期地区研修リーダー、宮地信尚同副研修リーダー、片山主水地区幹事ら特別出席者を紹介。国歌、ロータリーソングを斉唱、続いて犬飼栄輝ガバナーが点鐘、黙想した後「昨年7月にガバナー就任以来、つつがなく大役を務めてこられたのは皆さんの協力のお蔭であります。現在、青少年問題を始め多くの社会問題が起きているが、21世紀への明るい展望を図るためには、正にロータリーの出番です。内藤ガバナーノミニから新しい方針が出されますが、これを基本に第2760地区が素晴らしい地区になることを心から願っています」と挨拶された。

続いて、内藤ガバナーノミニが『新しい年度に向けて』のテーマに添って、以下のようなガバナー方針を示されました。「3月6～14日の8日間、米国加州アナハイムホテルでの国際協議会に参加して、すべてが整然と質素に要領を得た準備が成されていることに感心しました。点鐘後20秒間の黙想(meditation)をし、精神集中(concentrate)を図ることによって、新たな心で臨もうとするものです。今後、地区単位の会合会議にはこれを導入していきたい。またジェームス L・レイシーRI会長エレクトのテーマ「ロータリーの夢を追い続けよう」(Follow your Rotary Dream)が発表され、その趣旨の説明がなされ、非常に高邁な趣旨に感

動を覚え、ロータリーが素晴らしいものであることを改めて再認識した。現在は子供達ばかりでなく、大人も『こころのポリオ』にかかっているような気がする。これを少しでも癒すことに努め、21世紀に向かって日本を担う青少年の育成に努力したい。各クラブでは、テーマに沿った活動をお願いしたい。7月からガバナーの大役を担うことになるが、ロータリーは『親睦と奉仕』が両輪であり、これを両立させるよう努めていきたい。こうした目標を実現するためには、各クラブの会長、幹事さんには大変お世話になるが、よろしくお願いします」。

ガバナー方針として、①ユーイズムを広めよう ②新世代に大いなる光を照らそう ③奉仕の実感を共有しようの三つのテーマを発表すると共に、新たに『ガバナー賞』を設け「地域社会の関心事と子供たち」に焦点をあて、三つのテーマを基本に各クラブの地域性を生かした幅広い活動を行ない、優れた成果を収めたクラブをガバナー表彰する。来年5月15日から資料を受付け、選考委員会で選考決定した後、次年度地区大会で表彰する。

午後は報告事項で、新年度もリーダーシッププランに基づき、クラブ公式訪問を原則として複数クラブとすることや、新年度の地区大会を11月21、22日に名古屋国際会議場で、地区協議会を来年5月8日同場所で開催すること、クラブ計画書と定例報告書作成の留意点などが報告説明された。

最後に、神戸政治次期研修リーダーより『会長のリーダーシップについて』の講話を頂き、各会長エレクト・幹事は次年度の意気込みをお互いに確かめあいながら、3時30分散会した。



岡崎東ロータリークラブ創立25周年記念式典例会

岡崎東RC会長 足立 汎和

1998年4月23日、名鉄岡崎ホテルにおいて、創立25周年記念式典及び祝宴を開催しました。

当クラブは、1973年4月岡崎RCをスポンサークラブとして会員26名で創立し、現在の会員は101名になりました。

記念式典は、犬飼栄輝ガバナー、岡崎市助役、額田町長をはじめ来賓、招待者、姉妹クラブ松本東RCなどからの出席を含め162名が出席し、25年のあゆみを祝福しました。

物故会員への黙祷にはじまり、荻野銀一25周年実行委員長の挨拶、25周年記念事業の発表と目録の贈呈、西三河第一分区パスト分区代理、創立会員・第20～24代会長・幹事への感謝状の贈呈、ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者の紹介



のあと犬飼ガバナーをはじめ4名の来賓方からの祝辞をいただきました。

なお、式典の席上、犬飼ガバナーから三河第一分区内の全会長に対し、RI会長賞の授与がありました。

※記念事業

1. ロータリー財団へ寄付
2. 米山記念奨学会へ寄付
3. 岡崎市民病院へ福祉機器の寄贈
4. 額田町北部診療所へ絵画の寄贈
5. “凍った炎”の原作者夫妻並びに患者母子招待
6. 名古屋第一赤十字病院骨髄移植センターへ事務機器の寄贈



1997～'98年度 RI 会長賞

ロータリーの心を示すための会長賞 [受賞66クラブ]

【受賞クラブ】

尾張第一分区 (6 RC)

半田・常滑・東海・東知多・半田南・知多

名古屋第一分区 (12RC)

名古屋・名古屋西・名古屋南・名古屋港・名古屋東南・名古屋中・名古屋瑞穂・名古屋大須・

名古屋栄・名古屋名駅・名古屋名南・名古屋西南

名古屋第二分区 (9 RC)

名古屋北・名古屋東・名古屋守山・名古屋和合・名古屋名東・名古屋名北・名古屋千種・名古屋昭和・名古屋錦
東尾張分区 (10RC)

瀬戸・犬山・江南・小牧・春日井・尾張旭・名古屋空港・瀬戸北・岩倉・豊山一城北

西尾張分区 (8 RC)

一宮・尾西・一宮北・稲沢・あま・西春日井・尾張中央・一宮中央

東三河分区 (10RC)

豊橋・豊橋北・豊川・田原・新城・渥美・豊川宝飯・豊橋ゴールデン・田原パシフィック・豊橋東

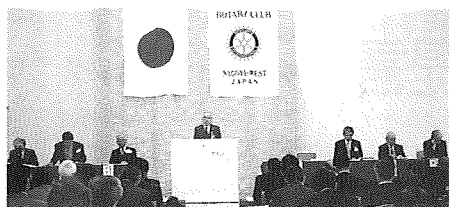
西三河第一分区 (8 RC)

岡崎・豊田・岡崎南・豊田西・岡崎東・豊田東・岡崎城南・豊田三好

西三河第二分区 (3 RC)

刈谷・安城・知立

第2回国際奉仕委員長会議報告



ガバナー挨拶

日時 平成10年4月3日(金)
午前11時00分～午後3時30分
場所 蒲郡プリンスホテル

会議は、犬飼ガバナーはじめ特別出席者（分区分代理、地区役員、委員）と地区内各クラブの国際奉仕委員長、及びホスト役の名古屋西RC伊藤会長他役員、事務局合わせて101名の参加を得ました。なお今回は、ブラジルより来日しているG.S.E.研究グループチーム5名も加わって、実りの多い会議が行われました。

ご承知のように、この4月から外為法が改正され、通貨の面においても、世界は次第に身近になってきました。こうした時代においては、国際奉仕委員会の役割や交流も一層意義深く、積極的に活動を展開すべきであると考えます。

犬飼ガバナーにおかれましては、公式訪問及び地区大会を済ませ、各分区のI.Mも3月末をもって終わりました。このあと4月の「次期会長幹事研修会」、5月の「地区協議会」の二つの行事を残すのみとなりましたが、ガバナーは『百里を行く者は九十里を半ばとす』と自らをいましめられて、何事にも最後まで緊張と努力を続けなければいけないと強調されました。

1) 青少年交換委員会 委員長 木本精之助

1997-98年度には、10名の高校生を派遣、10名を相手国より受け入れております。また次年度(1998年度分)については、既に今年度(昨年7月)に選考し、ただいま16名を派遣するため、オリエンテーションを行っており、大体これと同数の高校生を受け入れることになります。当地区の青少年交換は、従来アメリカ、カナダ、オーストラリアの英語圏のみであったが、昨年よりブラジル、フィンランドと新たに交換を始めました。

最近においては、青少年交換委員会のプログラムについて、全国の34地区の間で、Eメールを使用してのネットワーク化が進んでおり、青少年交換に関するいろいろな情報が飛び交って、今後大きな動きが生まれてくるものと思っております。

地区国際奉仕委員会 委員長 林 光雄

2) 世界社会奉仕委員会 委員長 鶴田欣也

第1回委員長会議で、皆様からアンケートをお願いしていただきましたが、今年度はそれに基づいて皆様方のご希望を入れてW.C.S活動を続けました。この活動は毎年行っておりますが、今年はそれに加えて、バングラディッシュの「シェルターの建設」とユネスコの「世界寺子屋運動」への参加を実施いたしております。

W.C.S活動の中で、毎年当地区とフィリピン・マニラの第3800地区、第3810地区及びタイ・チェンマイの第3360地区の3地区と交流をしております。今回はタイへ20名、フィリピンへ20名、合計40名の視察団を結成しました。ご参加された方々は、自分のクラブがどんな活動をし、どんな効果をあげ、どれほど喜んでいただいたかご自分の目でしっかり確かめられたことと思います。

私は、今回タイの組へ参加して訪問してまいりました。今後の課題として、環境問題、エイズの感染予防等がありますが、多くの要望に対し、如何に進めてゆくべきか大いに考えさせられました。W.C.S委員会といたしましては、皆様方の貴重な浄財が有意義に使われるよう努力する覚悟であります。

3) 国際友好委員会 委員長 中野 博三

- ①姉妹提携について
- ②ロータリー趣味・職業別親睦活動について
- ③ロータリーの友情交換について

以上①～③の詳細は、近日中に第2回地区国際奉仕委員長会議の記録を、各クラブの国際奉仕委員長宛で送付いたしますので、参照して下さい。

4) G.S.E.の活動と研究グループの紹介

委員長 松前憲典

紙面の都合で省略させていただきます。第2回地区国際奉仕委員長会議の記録を参照して下さい。



G.S.E. 研修生 5名

国際ロータリー第2760地区 第6回ロータリー青少年指導者養成セミナー

RYRA =セミナー趣旨=

新世代の国際交流と21世紀への提言！

地区ライラ(小)委員会

委員長 石田 喜運

ホストクラブ 豊橋ゴールデンRC

実行委員長 梅村 東

ロータリーが、次の世代を担う新世代にかかる期待と夢が如何に大きいかは、青少年活動プログラムが4大奉仕活動のうち、3大奉仕活動までに及んでいることで明らかです。昨年度は『新世代会議』が提唱され、各クラブでは地域社会において新世代と共に有意義な活動が展開され、新たな青少年活動が予感されます。

当地区のライラ(ロータリー青少年指導者養成プログラム)の活動も、歴代関係者の情熱と尽力により第5回ライラセミナーに於て地区内全クラブから受講生が参加し、地区事業として初期の目的を達成し、今後更なる充実をしたセミナーの開催が求められ、期待されておりました。

今回のライラセミナーは、犬飼栄輝ガバナーの『新世代は21世紀からの留学生である…』との思いと、地区青少年活動委員会のテーマ『新世代と共にロータリーの心を！』を基本的な考えとして、ホストクラブの豊橋ゴールデンRCと共に参加した新世代にとって有意義な機会となるよう鋭意準備に務めてまいりました。

今回のライラセミナーの基本的考えとして、

- ①ロータリーが提唱しているプログラムに参加している米山奨学生、交換留学生及海外生活体験のあるR財団奨学生の皆さんに、セミナーへの参加をお願いし、分科会に於て受講生との意見交換に加わって頂き、議論を通しての国際交流を計画。
- ②分科会は、テーマを用意せず受講生が常日頃より思い、考えている問題を持ち寄り、若者達による自由闊達な意見交換のなかから、意見の抽出と問題提起を図り、受講生による『新世代の21世紀への提言』として若者の考えを社会に発信。
- ③一般的にはレクリエーションを兼ねるキャンプ方式のセミナーが多いが、今回は季節と施設の関係で、試みとしてシティーホテルを会場とした。内容も、セミナー主体のプログラムとし、受講生の勝手な行動によるトラブルを防ぐ為、分科会単

位での団体行動を基本に運営。

以上の大変難しい注文、お願いをホストクラブを引受けて戴いた豊橋ゴールデンRCに申し上げました。1年半にわたる周到な準備と誠意ある運営は、参加した皆さんに、本年度R.Iテーマ『ロータリーの心を！』を伝えることが出来たと思います。

第6回ライラセミナーは、R.I第2760地区、犬飼栄輝ガバナー主催の下に『ホリディ・イン・クラウンプラザ豊橋』で、地区内各RCから派遣された活力ある若い受講生137名、米山記念奨学生14名、R財団奨学生10名、ロータリアン201名、計362名の参加を得て、春らんまん桜吹雪のなか4月4～5日の2日間にわたり開催されました。

登録を済ませた受講生は、分科会毎に用意した席で昼食をとり、リラックスした雰囲気の中で自己紹介、オリエンテーション等を行ないました。開講式も分科会毎の席にするなど分科会単位の団体行動を予定しましたが、当初心配した不平不満は無く、かえって連帯意識が芽生え、以後の分科会への良い導入になりました。

開講式には犬飼栄輝ガバナー、地区青少年活動委員会カウンセラー高沢隆バスターガバナー、加藤正男地区青少年活動委員長はじめ地区役員が出席し、犬飼栄輝ガバナーの点鐘で開会しました。梅村東実行委員長の開会挨拶に続き、犬飼栄輝ガバナーから『…私どもロータリアンは、過去の努力と実績を誇り、未来に向けての課題を整理し、新



昼食時、分科会毎の参加者紹介

開講式



犬飼ガバナー挨拶

世代の人達と率直に意見を交換する場をつくりたいと思います。世界はボーダーレスの時代に入りました。若い人達のデビューを待つ舞台の大きさは、地球と同じ大きさです…』との挨拶があり、ロータリーの新世代人の期待と、新世代の地球規模の舞台での活躍を熱望されました。

セミナーの基調講演は、元R財団奨学生のランデル（春田）洋子氏を講師にむかえ、『心をつなぐ国際コミュニケーション』のテーマで、長い経験にもとづく興味深い、かつユニークなお話をうかがうことが出来、受講生に国際交流についての認識を深めることが出来たのではないかと思います。引き続き分科会、地区青少年活動委員長会議が併行して行なわれました。

分科会については準備として、主役である受講生の『新世代の主張』の意見発表の内容について事前に確認させて頂きました。解答が90%強もあり、受講生の意識の高さに驚きました。そしてセミナーテーマ『新世代と国際交流』に沿い、留学生と海外での生活体験のある日本の若者の協力を得て、受講生と共に議論に加わって頂き、国際色豊かな分科会となって、肌で感じる国際交流が図れたと思います。

今回の分科会では、あえてテーマを決めず受講生に事前に提起する問題を用意してもらいその発表から始めました。その中から共通した問題を抽

出、問題の提起から提言までを受講生が自主的にまとめることを主眼としました。18才の高校生から30才の既婚者まで幅広い年齢層が集まり、職業もさまざまで、初めは戸惑いもあり、大変苦慮した分科会もありましたが、昨今、ディベート競技などで相当訓練されているのか、受講生の意識が高いのか、すぐに討議、討論を通じ仲間意識が芽生えて和気あいの分科会に発展したり、口角泡を飛ばす勢いで夜を徹した分科会、ロータリアンを巻き込み世代間を越えた討論となった分科会など一つ一つに大変特長が出て充実したものとなりました。受講生一人一人の感想文にも、初めての出会いでこんなに自己の意識が啓発できるとは思わなかったとの感想が多くありました。そして留学生諸君の参加は受講生にとって貴重な体験となったようです。米山奨学生は国家意識を持っており『国の為に勉強をしている…』との発言を、日本の新世代が非常に新鮮に受けとめていたのには考えさせられました。

翌朝の『朝の集い』では、三河湾が一望できる屋上でラジオ体操を行ない、気持ちをリフレッシュしました。朝食後、各自感想文の作成にとりかかり、受講生全員が提出をして現在文集をまとめております。

分科会グループ別討論の結果発表では、それぞれ分科会毎の創意工夫された素晴らしい発表があり、感性溢れるスピーチは多くの人々に共感を与えました。特に留学生代表の挨拶では国際感覚とは何かを理解できたと思います。

閉講式では犬飼栄輝ガバナー、地区青少年活動委員会カウンセラー高沢隆パストガバナーの講評、修了証書の授与があり、受講代表の感動的な挨拶は私共の胸を打ちました。内藤明人ガバナーノミニの挨拶に続き、次期開催ホストクラブ、尾西RC会長の再会を誓っての挨拶そしてフィナーレ、ロータリーソング『手に手つないで』の大合唱でセミナーを終了しました。

若い受講生の皆さんと、ロータリアンが手を携え、共に過ごし素晴らしい思い出を共有することが出来たセミナーであったと思います。合掌。



基調講演 講師ランデル洋子



分科会別意見発表



受講生代表 修了証書授与

第2回青少年活動委員長会議報告

地区青少年活動委員会 委員長 加藤 正男



去る4月4日、ホリデイ・イン豊橋クラウンプラザにて盛大に開催されましたライラセミナー分科会の時間を利用して、本年度第2回青少年活動委員長会議を開催致しました。

犬飼ガバナー・高沢パストガバナーはじめ、地区の青少年活動委員・インターアクト(小)委員・ローターアクト(小)委員・ライラ(小)委員及び地区内全クラブの青少年活動委員長の方々のご参加を得て、大変内容の濃い会議となりました。

今回の会議では「新世代のためのロータリー会議・新世代のためのプログラム」について、下記の各クラブ青少年活動委員長がすばらしいコメントを発表されました。

記

東知多RC・相場英人氏、名古屋RC・岩瀬康彦氏、名古屋守山RC・樋口武人氏、瀬戸RC・加藤晃氏、あまRC・竹田潔氏、豊橋ゴールドデンRC・石田喜運氏、岡崎RC・山本邦雄氏、知立RC・森恒雄氏、以上の方々にあらためてお礼申し上げます。

本年度地区内では、全クラブが参加した「新世代のためのプログラム」として、①第1回青少年活動委員長会議、②新世代のためのロータリー園遊会、③第6回ライラセミナー、④第2回青少年活動委員長会議がございます。

特に今年度、犬飼ガバナーのご提唱により初めて実施されました「新世代のためのロータリー園遊会」は、地区及び各クラブのご関係者の熱心な

ご支援により総勢499名の参加者を得て大変意義深いひとときとなりました。犬山RCの皆様はじめお力添え下さいました皆様にあらためて感謝申し上げます。

また、新世代のための活動と申しますと、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ及びライラがその象徴といえるかと存じますが、提唱クラブをお持ちの各ロータリークラブにおいて、これら青少年活動に対し格別尽力されていることを大変心強く思います。

また新しいこととして、あまRCにおかれましては愛知県立美和高等学校にインターアクトクラブを創立する運びとなり、さらに西尾・西尾KIRARA・一色RCは合同でローターアクトクラブの設立を鋭意ご検討中とのビッグニュースを伺いご同慶にたえません。

その他、今年度は30近いクラブがバラエティに富んだ「新世代のためのロータリー会議」を開催されておりますが、各クラブから頂いた報告書を基に、地区青少年活動委員会で編纂いたしました小冊子「新世代プログラム報告書のまとめ」を今回の会議の席上発表しご伝達申し上げました。各クラブの青少年活動委員長各位のご協力に対しあつくお礼申し上げます。

最後に今回の会議開催に対し格別なるお力添えを賜りました石田喜運地区ライラ委員長、梅村東ライラセミナー実行委員長、豊橋ゴールドデンRC山本六朗会長はじめ同クラブの皆様、さらには鈴木孝則・夏目誠一郎両副委員長、坂本康信(IAC)・石川敬(RAC)両委員長はじめ地区委員の各位に対し深甚なる謝意を表します。



G.S.Eメンバー滞在記

[名古屋第一分区]

名古屋中RC 河尻 邦博

真面目なロータリアンで一日3回の挨拶に耐えた豊田淳治。これが警察官？警察学校の教官で大尉の歌手アルーダ。やり手の銀行ウーマン、いつもニコニコ、サンバ上手なアニッキ。寿司と納豆大好きでソウルオリンピック代表のアンドレイア。昔の日本から来た純日本娘、カシア。サンパウロGSE派遣メンバーは全員実に魅力的な人々でした。

3泊ホームステイの最後の夜、メンバー全員と各ホームステイ先の堀江夫妻、伊藤夫妻と共に、文字通り「手作り」ホームパーティを私共の家で催すことになりました。女性だけでなく男性も積極的にテーブルセッティングを手伝い、料理を運び、特にリーダー豊田さんは我家へ入ってくるなり台所へ直行。堀江君と見事な肉さばきを始める等、男の料理教室もマッ青。そんな訳で乾杯する頃には全員長年の知己のように打ち解け、笑い声が溢れておりました。どんなに楽しんだか一例を紹介—食後アルーダはパバロッティ並み？のカンツォーネを次々と歌い、それがCDに合わせてサンバへと発展。全員所狭しと踊り回り、シンデレラの如く夜の更けるのも忘れしました。

しかし「世間は何とやら…」、更に印象的な出来事が彼等の名古屋出立後起こりました。我クラブ会員で私の義兄夏目君の娘夫妻が、偶然にもサンパウロへ転勤することになったのです。京都旅行中のカシアに知らせた処、すぐブラジルへ連絡。彼女の家族のみでなくサンパウロGSE委員長酒井氏より姪夫妻に電話が入ったそうです。ロータリアンの友情を深く感じさせる一例でした。



[名古屋第二分区]

名古屋守山RC 三浦 英二

豊田淳治さん、ルイス・アルーダさんお二人のホームステイ先に指定していただいてから、当日までは、お迎えして、うまくおもてなしが出来るかどうか心配しつつも、とても楽しみにしておりました。

滞在3週間もの過密スケジュールで、少々お疲れ気味のご様子でしたが、日本間の寝室で、浴衣と半天を着られ、日本食がとても美味しいといわれ、たくさん召上り、その後は大浴場で手足を伸ばされ、汗を流されてからは、心身共におくつろぎいただけた様でした。お二人共日本式お風呂がとてもお気に召したのか、ブラジルの自分の家でもこんなお風呂を造りたいとおっしゃっていました。

豊田さんは、武士の気骨精神を持ち合わせた日本の良き時代の男性とお見受けしました。礼儀正しくひかえめで、それでいて、ブラジルの文化、歴史、地理など、地図や雑誌を使って熱っぽく語って下さいました。

アルーダさんは、祖先が15世紀にイタリアから移民されたとのこと。彼もイタリア人の陽気さ、人なつっこさを持った、まさに彼のように生きていきたいと思う程。楽しく愉快な方でした。多趣味で、日本古来の文化、生け花、茶道にも興味をもたれ、私の娘の結婚式の時の花嫁衣装の写真を見て、とてもきれい！美しい！と言われ、“大和なでしこ”を連発されました。食後、私の兄でピアニストの三浦洋一の伴奏で、“さくらさくら”やイタリアカンツォーネを数曲歌われ、ロビーは、私共のお客様も含め、ミニコンサートの様でした。

日本を離れる時、成田空港から感謝と別れを惜しむ電話をいただき、今の日本には失われつつあるお人柄を感じました。

[西尾張分区]

尾西RC 吉田 民雄

初めに、研修の内容についてご報告いたしますと、私共が担当の4月11日は、丁度土曜日で、モレイラさんご希望の、身障者施設、樫木学園並びに金剛保育園共に休園のため、充分な研修日程計画できず、申し訳なく思っております。久しぶりの土日と云うことで、加藤分区代理宅で女性の方々はゆっくりとした計画をたて、アルーダ氏は、尾西幹部交番（約1時間半）、そして尾西消防署へは全員参加で、梯子車にも同乗していただき、有意義な研修になったのではないかと思います。

次に夕食については色々迷いましたが、小生の家は、田舎風の家なので、尾張式・法事形式で夕食を取っていただきました。当然正客はGSEの訪問者、お相伴役は、小生、加藤分区代理、藤田幹事、臼井米山長、前田国際長の5名、接待役には、分区代理奥様、小生家内、小生の長男、次女の4名で行い、茶の接待の後、仏壇に礼拝していただき、夜おそくまでにぎやかに楽しく夕食を取ることが出来ました。

夕食後、小生宅に豊田氏、アルーダ氏、加藤分区代理宅には内山さん、コロンフリーさん、臼井米山長宅にモレイラさんが分宿しました。

特に、小生次女は大張り切りの接待で、後日談ですが、英会話をもう少し一生懸命、習っておけばよかったとのこと。私共夫婦も初めてのホームステイ受入れで、楽しい体験をさせていただいて、感謝いたしております。



4月8日(水)
オークマ(株)
100周年記念碑前
にて



4月8日(水)桜満開の犬山城にて



4月9日(木)
愛知県警察学校前
にて



4月9日(木)東尾張分区 10RC 会長・幹事歓迎会
於：春日井ロイヤルホテル

[東尾張分区]

分区代理幹事・春日井RC 須田 泰彦

当地区久方ぶりのGSEプログラムが、ブラジル第4430地区との間で実施され、去る3月24日より4月23日の1ヶ月間、ブラジルより5名のメンバーがやって参りました。我々東尾張分区は4月8日と9日の担当となり、分区内10クラブが手分けして担当することになりました。

4月8日は午前9時に名鉄グランドホテルを出発。江南RC会員会社で丁度創業100周年のオークマ(株)へ。丁寧な会社説明の後、工場見学そしてバスで国宝犬山城へ。この日の女性3名は見事なミニスカートでしたが、全員犬山城の狭く急な階段を最上階迄、のぼって行きました。休む暇もなく犬山ホテルにて開催された小牧RC・春日井RCの合同花見例会に出席。豊田リーダーから全メンバー紹介の後、メンバー全員が素晴らしい自己紹介をしてくれました。例会終了後、犬山RC会長幹事様を中心に、全員を明治村へ案内しました。普段は閉鎖のブラジル移民館を開けてもらい、ブ

ラジルより移築したと云う木造の当時の貧しさを
思わせる建物で記念撮影。園内見学後は、同行し
ていたホストファミリーと共に解散しました。本
格的なホームステイは、この日が初めてだったせ
いか、全員その夜遅く迄ホストファミリーとの話
がはずんだようです。

翌日は、まず愛知県心身障害者コロニーへ。総
長の英語スピーチの後、リハビリセンターを見学。
更に重度の障害者施設と障害者の歯科室を見学。
前者では、かなりショックを受けたようで全員が
真剣な顔つきでした。次に隣接の愛知県警察学校
で入校式を見学。これは我々ロータリアンにも減
多にお目にかかれぬ素晴らしい体験でした。昼
食を瀬戸陶磁資料館でとった後、陶芸作家の瀬戸
RC亀井会長の陶房へ。各人思い思いに絵付けを
し、焼き上がった作品は後日おみやげに。更に瀬戸
北RC会員の(株)エジリーを訪問して、春日井ロ
イヤルホテルでの10RC会長幹事歓迎会へすべり
込みました。

わずか2日間でしたが、各RC会長幹事を中心
にほぼ全クラブがお世話をしましたため、歓迎会
は大いに盛り上がり、全クラブ参加型の中身のある
国際交流が出来ました。各RC会長幹事様、施設
見学の企画にお骨おりのいただいた皆様、そしてホ
ムステイ先のファミリーの皆様の御好意に心より
感謝申し上げます。



自分たちの祖先の真似がしてみたいと、袴などを着てみた
4月1日 於：三長旅館

お元気で！

【東三河分区】

分区代理幹事 林 哲司

突然、ブラジルから5人の研修生が第2760地区
に約1ヶ月間滞在する予定があり、蒲郡に5泊す
るから宿泊先、行動計画を作成する様、分区代理
から命があった。

10年前に1人の中国人を家に1日泊めた経験は
あるが、3月30日夕方から4月4日の昼食の約6
日間の長い期間お世話出来るか、日本語しか話せ
ない自分には大変不安でした。

布団で3泊した「三長」さんへ24日に食事に行
きました。そこで、男性の袴、袴姿、3人の女性
が着物を着た時の微笑んだ素敵な姿が、今も脳裏
に浮かんできます。初めての茶室に入って頂いた
「お抹茶」の味、おいしかったですか。日本刀、
十手を手にした時は、サムライの気分になれたで
しょうか。

2泊した、銭湯のベッドの堅さは、どうでした
か、今になって心配になりました。3人で一緒に
入った露天風呂、慣れない「箸」できれいに食べ
た「さんま定食」、私の家族と過ごした時間、回
転寿司の夕食など、楽しい思い出になりました。

今、4月25日の夜10時です。そちらへ帰国して2
日目の朝10時ですね。久しぶりで自分のベッドで
休んで疲れが取れましたか。1日の夜インターネ
ットでメールを送りましたが無事届きましたか。

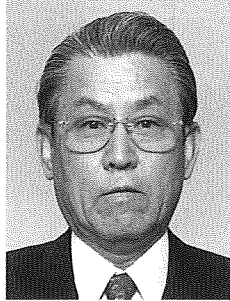
最終日に36枚どりフィルムが7本目でしたね。
滞在中は全部で何本になったのでしょうか。写真に
写ることの嫌いな自分も、もう少し一緒に写れば
よかったと反省しています。そして例会でプレゼ
ントされた灰皿は、メッセージどおり、たばこの
本数を減らし、大切にに使わせてもらいます。

それでは、5人の今後の御活躍と御多幸をお祈
りしています。頑張ってください。“お元気で”

1997～'98年度 活動報告

尾張第一分区

分区代理 河合 博文



本年度の分区代理は、ニューリーダーシッププランの導入により、ガバナー補佐として活動すると云う事になり、大変プレッシャーがかかりました。ガバナー訪問に先立って第1回の分区代理訪問を8月5日半田南RC、8月7日半田RC、8月25日知多RC、8月29日常滑RC、9月10日東海RC、9月13日東知多RCと行い、それぞれクラブ協議会にも出席しました。各クラブを公式に訪問する事で得られた意義は、誠に大きいものがあると思います。

さらに、IM開催に先立ち第2回の分区代理訪問を行い、IMの全員登録をお願いして快諾を得た事は大変有意義でした。

第2回分区代理訪問は、1月30日常滑RC、2月5日半田RC、2月7日東知多RC、2月9日知多RC、2月17日半田南RC、2月25日東海RCで行いました。IMは全員参加のもとで、3月29日に無事盛大に終了する事が出来ました。

尚、当分区では、6月の新旧合同会長幹事会をスタートに各クラブ持廻りで隔月に会長幹事会を開催し、各クラブの状況報告や地区の活動状況等について意見交換を行っております。

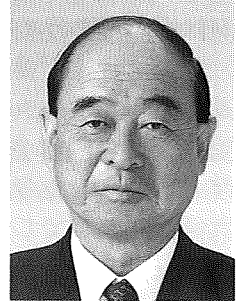
GSEグループについては、4月6、7日が当分区の担当でしたが、6クラブにそれぞれスケジュールを担当していただき、大変充実した内容で歓迎できました。

特に、半田南RCの例会出席、知多RCの夕食会、6クラブ合同の歓迎パーティーとも大変盛り上り、GSEメンバーに喜んでいただきました。

主要行事がほぼ終り、ほんと致して居るところですが、ニューリーダーシップの成功を心から喜んで居ります。

名古屋第一分区

分区代理 堀田 逞二



(I) 分区代理訪問報告

犬飼ガバナーのご提唱になる“ニューリーダーシッププラン”に基づいてクラブ訪問を行ないましたが、名古屋第一分区の12クラブに対し夫々、上期訪問、ガバナー随行訪問、下期訪問と3回宛訪問した結果、合計36回の訪問となりました。上期訪問では、各クラブのクラブアセンブリーに出席し、活動の詳細をうかがいました。

基準の時間を1時間30分としましたが、熱心さの余り、2時間を超すクラブもあり、キャラクターの相異をまざまざと見せつけられた思いがしました。アナリストとして、またアドバイザーとしての臨席であるだけに、大変な冷や汗をかき乍らも、得難い勉強が出来たと感謝しているところであります。

(II) IM報告

IMの実施に当り、名古屋第一分区のIMは如何にあるべきかと様々な論議を重ねた結果、メインプログラムをリーダーシップに因んだ講演会と決めました。講師には、歴史作家で名高い井沢元彦氏にお願いし、テーマを“歴史に学ぶ指導者の条件”として、リーダーシップについて学びました。500名を超す参加者を得ましたが、多くの会員から過大なまでの評価を受け、「一方通行の講演会形式で良いだろうか」という危惧の念が一度に払拭出来たことは幸でありました。

(III) GSEホスト報告

当地区、20数年ぶりのGSE受け入れで、本年度の地区活動は一層の盛り上りを見せました。名古屋地区滞在一週間のホストを承りましたが、名古屋中、守山、東、名駅、港の各クラブの積極的なご協力を得て、大成功に収めることが出来ました。ホームステイについても、4名の方々に

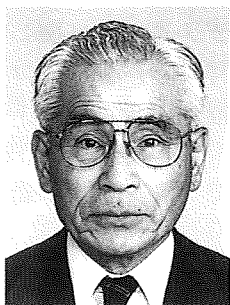
願いいましたが、即刻応募いただけたことは、誠に幸でありました。最後の日のお別れパーティーでは、涙して別れを惜しむところとなりましたが、この事業の意義を改めて痛感した次第であります。

GSEの活動は大変な労力と時間を要するプログラムですが、その価値と意義は絶大であります。国際理解の必要が益々高まるとき、GSEの積極的な推進が期待されるものと思います。

(Ⅳ) その他、地区委員会等への出席報告については、省略いたします。

名古屋第二分区

分区代理 山田 静夫



分区代理の任期も後2ヶ月を残すのみとなりましたが、私が分区代理を引き受けることになったのは、クラブ推薦から、手続要覧重視の方向に最終的に議論が煮詰まったことからでした。正に青天の霹靂でございました。

次いで「ニューリーダーシッププラン」について初めて聞かされました。これも驚きでございましたが、続いてインターシティミーティングの運営についてと、頭を悩ますことばかり、この件は、実行委員長に依頼することで、期日、場所、テーマ、アドバイザー依頼など、計画通りに本当にスムーズに経過し、熱心な委員長の方々の行動に感謝すると共に安心したものでした。

一方では、ニューリーダーシッププランを実行する為に訪問日の日程に追われ、緊張の連続の中に秋を迎える季節となってしまいました。途中、地区大会、各委員長会議がありましたが、ガバナーが大変多くの日程をこなしておられる姿を間近で拝見し、感服もひとしおでした。

「ニューリーダーシッププラン」をご理解していただくための訪問日には、アセンブリでの不勉強を反省しながら平成10年を迎えた様に思います。そしてIMに続いてGSEが終了、再度分区代理訪問を4月末までに終わりやっと1年間を振り

返る気持ちとなりました。この間の活動における反省材料は、これからの私自身の人生の糧であると思っています。

東尾張分区

分区代理 早川 八郎



今年はガバナーの重点目標を、クラブ訪問から本来の役割に専任させたい、そのため分区代理の任務を強化します、と加納PGから説明がありました。地区リーダーシッププランは初めて耳にする言葉であり、手続要覧にも記されていないことで私は驚きました。

特別な教育を受ける時間もなくクラブ訪問が始まり、クラブ協議会にも出席致しました。各クラブの会長はバランスのとれた奉仕活動を実践し、RI会長賞に挑戦、「ロータリーの心」を示す事になりました。

次に、合同例会方式によるガバナーの公式訪問、日本初の飛鳥船上での地区大会、147名が参加した分区内親睦ゴルフ大会、登録料をおさえた簡素なIMに300人が参加、23年ぶりにブラジル4430地区からGSEチームが来訪してホームステイと分区内を案内、以上全て好評大成功でした。

分区最大の問題は、1999～2000年度の地区大会ホストクラブの選出でしたが、秩序を乱すことなく犬山ロータリークラブに決定、分区内全クラブが協力することになりました。

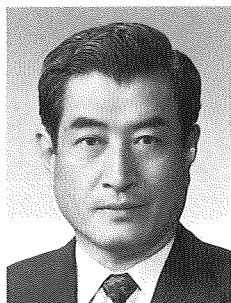
つづいて下期のクラブ訪問では、実力ある会長ぞろいで優秀クラブばかりでした。10クラブすべてがRI会長賞を受賞することが出来ました。

お陰様で各会長幹事の友情とホストクラブの協力に支えられ、須田幹事に助けられ無事任期が終ろうとしています。この一年、犬飼ガバナーを始め役員の方々の皆さまのご指導と、分区内のロータリアン各位のご支援をいただき感謝申し上げます。ロータリーの本質“奉仕からくる満足感”を教えられました。

1997～'98年度 活動報告

地区資金委員会

委員長 森 武保



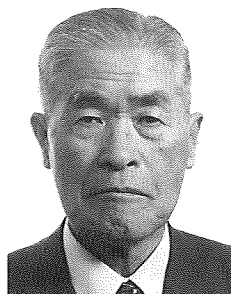
3年間の地区資金委員会にもお別れの時が近づいてまいりました。この間、石川様、松本様、犬飼様という素晴らしいガバナーに真近でご指導いただいたことは、生涯忘れられない思い出となることでしょう。

しかし当委員会の役割にはいささか疑問を感じたことも事実です。地区全体の会計に深くかかわることはなく、単に報告を受けるのみという受動的な立場にあるということです。地区大会へ提出する決算報告ですらまったく関与しません。勿論地区会計長が、予算の編成から執行まで真摯に取り組まれ、多大なるご苦勞をしておられることを否定するものではありません。

この地区資金委員会の特色は、メンバーが3代の地区幹事経験者より構成されていることです。現地区幹事共々、折々のケースにどう対処したかについての情報交換の場としての存在感は強いと思われます。

地区拡大委員会

委員長 加藤 秀夫



過去3年間鈴木孝平委員長のもと4クラブが新設された後を受け、本年度は委員長を委嘱されました。

本年度は、犬飼ガバナーの1～2クラブ新設宣言に基づき、目標を名古屋第1分区と設定して活動してきました。委員会メンバーは、カウンセラー3名、委員4名、委員長の計8名で、2回の委員会を開き、関係地区の分区代理から情報提供を受けました。以下、第2回委員会の状況を報告します。第2回拡大委員会

1998年4月9日(木) 名鉄グランドホテル

出席者：犬飼ガバナー、片山地区幹事、大西地区副幹事、松本カウンセラー、加藤拡大委員長、委員4名、山田名古屋第二分区代理

代表発言の山田分区代理から名古屋守山ロータリークラブによるクラブ新設の動きについての報告があった。準備委員がクラブ新設のメリット、デメリットに関してのアンケート調査を行い、10月以降、会員のコンセンサスを得るための運動を推進中。次年度、方向が決定される予定。

名古屋中RCでも、金山方面を中心とした地域でクラブ新設の動きがあり、次年度が期待される。

地区クラブ奉仕委員会

委員長 上野山 通



今年度は、特にクラブ間で各クラブの特質等を知っていただき、独自の活動のワンステップアップの為にと云う事を主眼として、取り組みました。

今年度のための地区協議会、第2分科会(クラブ奉仕・会員増強)に於いて、拡大、会員増強、広報、ロータリーの友委員会の諸問題について協議を行いました。

新年度早々、各クラブに対して下記の様なアンケートを行い、集計表を作成しました。(ガバナー月信に発表)

- ・ビジターフィ
- ・年会費
- ・新会員入会式並びに研修資料の有無
- ・卓話謝礼
- ・その他

平成9年9月13日、ガバナー主催にて地区内クラブ奉仕委員会で、各委員が諸問題を担当しアセ

ンブリーを行ない、各クラブの特色ある委員会活動をそれぞれ発表していただいた。また会議ホストを担当のあまRC会員に標準的な新会員入会式の実演を行なっていただいた。各クラブから提出いただいた新会員研修資料のうち数冊を、要請のあった第2600地区へ贈った。

地区会員増強委員会

委員長 山田 元



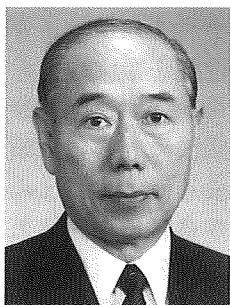
1997年7月8日(火)、地区クラブ奉仕委員会、会員増強委員会が開催された。その席で会員増強委員とカウンセラーである、松本パストガバナーを交えて、8月の会員増強月間についてのディスカッションを行い、方針として月間中に各クラブ卓話訪問をする事に決定し、卓話依頼のあった16クラブを訪問した。

又9月に三河地区、10月に名古屋地区、11月に尾張地区の会員増強委員長会議を開催した。各クラブの実情がよく把握出来、これからの会員増強の推進に役立つものと思われる。会議では各ロータリアンが終始熱心に討論し、盛会裡に終わった。

卓話訪問した各クラブ会長、幹事、会員増強委員長に対し、深甚なる敬意を表し、又御指導頂いたカウンセラー松本パストガバナーに感謝をささげます。

地区広報委員会

委員長 吉水 正溥



ロータリークラブの活動は、PR不足もあって一般に認識されていないきらいがあり、理解をされていない面も多い様であります。これは広報の責任でもあり、今年度は犬飼ガバナーの方針に従い、ロータリー精神の普及促進とロータリー活動

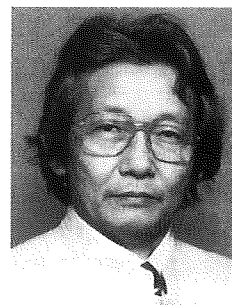
の周知徹底を図るために積極的な広報活動を推進することにしました。

各クラブで広報活動を展開していただくために、年度始めにクラブ広報委員長会議を開催し、犬飼ガバナー並びに各分区代理ご出席のもとで、報道機関と積極的な交流を図り広報PR活動の促進を要請しました。その結果中部経済新聞社から広い紙面を無償で提供戴き、県下10の支局に対しての地域クラブからの積極的な働きかけにより、ロータリーの活動状況が毎回掲載され、有意義な広報活動を図ることができました。

次に女性会員の方々の座談会を犬飼ガバナーと共に開催し、「ウーマンパワー花ざかり」と題して活発な意見交換を行うことができました。

地区ロータリーの友委員会

委員長 種村 桂介



ロータリーの友委員会は昨年8月30日(土) 11:30~13:30、名鉄グランドホテルに於きまして地区内の『97地区雑誌委員長会議』を開催することができました。

地区全体の雑誌委員長会議は長野との分割後初めての開催であり、雑誌『ロータリーの友』を読むことの重要性和雑誌委員会の役割が明確になり、意義深い会議となりました。

この会議にはガバナー、分区代理、地区幹事、副幹事が参加され、76クラブ中70クラブが出席いたしました。

講師として東京よりロータリーの友編集長別所直實氏を迎え、講演『ロータリーの友編集こぼれ話』をお話ししていただきました。

この会議で

- ①毎月、月初めの例会で雑誌委員長が、必ず3~5分『ロータリーの友』誌の内容紹介を行なうこと。
 - ②「ロータリーの友英語版」を全RCで購読すること。
- が確認されました。

いま、各RCで『ロータリーの友』を読むことの重要性がより認識され、4月の『雑誌月間』で

更にその認識が高まりました。

※なお、『ロータリーの友』は、いま『地域公認雑誌』となっていますが、『地域公認機関誌』が正しい訳語かと思えます。

雑誌という呼称が『ロータリーの友』のイメージを弱くしていると思われてなりません。

今後、呼称の変更を訴えていきたいと思っています。

地区職業奉仕委員会

委員長 宮本 昌幸



職業奉仕は職場と地域社会の両方において、クラブと会員の両方の責務である。との定義が示され強調されることになりました。今年度は、この方針を最重要課題として取り上げ、活動の推進を計ってまいりました。(主要実践事例は次の通り)

1. 職業奉仕を地域社会に直接かかわるものとしてとらえ、従来以上に広範な分野で活動。(小委員会設置の効果)
 2. 高齢者で、まだまだ働く意欲のある方々に対する雇用促進に力を貸し、斡旋などを援助。
 3. 身障者の社会生活や労働生活の援助に貢献。
 4. 職場における必要技能の変化や進展に対し、職業指導、研修などの再訓練を施し援助。
- 今後も地域社会が直面する様々な問題を解決するための、積極的な活動の推進を期待致します。

地区社会奉仕委員会

委員長 花井 文雄



本年度の社会奉仕委員会は、大きくって2つの事業を行いました。

その1つは昨年10月に行った各クラブの社会奉仕委員長・環境保全委員長・RCC委員長の皆さんに集まって頂いて行った“地区内各クラブ社会

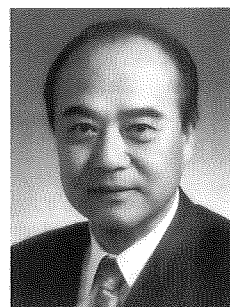
奉仕委員長会議”です。この会合についてはガバナース・レターNo.6(1997.11.20.号)でご紹介しましたが、「地域社会は、そして日本の社会は、何を求めているか」とのテーマで、参加者の方に小グループの中で奉仕の基本について討論して頂いたものです。

もう1つは、今年に入ってから行った調査です。各クラブで行っている社会奉仕に関する活動について報告を頂き、これを整理集計しました。各クラブそれぞれに特徴ある事業を行っていらっしゃる事がよく判りました。この結果は近日中に各クラブの社会奉仕委員長宛にお送りすると共に、近く開かれる地区協議会でも第4分科会の資料としてお渡しする予定です。

尚、次年度も社会奉仕委員長をお引き受けしております。よろしくお願いします。

地区環境保全(小)委員会

委員長 杉浦 恵造



6月1日は“環境の日”です。又5月30日(ゴミゼロの日)～6月5日までの一週間は第2760地区の“環境週間”です。そこで当委員会も5月31日に新世代の人達を交えて“21世紀の環境を考えるシンポジウム”を開催することにいたしました。目的としては環境問題に対する認識を深めるとともにロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブの各メンバーはどのような役割を果すべきかを考えたいと思います。昨年12月地球温暖化防止国際会議が京都で開催されて以来、にわかに環境問題に対する認識は高まってきました。又ゴミの焼却場から猛毒のダイオキシンが多量に検出され、ややパニック状態になっていると思われます。しかしそれではどのようにすればよいのかということになると、一般の人達には実際の行動がとまなわないのが実状です。このシンポジウムでは1人1人が環境保全に配慮したライフスタイルを実践できるよう討論したいと思います。

地区RCC (小)委員会

委員長 市田 弘治

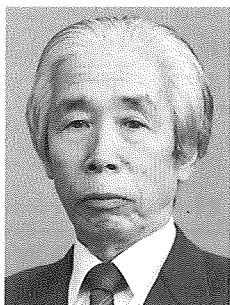


この1年間犬飼ガバナーの卓越したリーダーシップ及び、各クラブの格別なご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年度は10月17日に安城ロータリークラブが、創立40周年を記念してRCC地域共同隊(ATBC)を設立され、地区内第7番目の誕生となりました。ご存じのようにRCCはロータリーとは別組織であり、会員以外のメンバーで構成されております。現在共同隊員は193名で、ロータリーの精神に基づき、教育、福祉、スポーツ等を通して、それぞれ自助の奉仕活動を行っております。しかしRCCは1986年の設立で歴史も浅く、クラブによっては馴染みの薄いところもあります。地区委員会として、各クラブへ如何に理解して頂くかを重点とし、地区協議会、社会奉仕委員長会議でプロジェクトの概要説明等をさせていただきました。地区RCC(小)委員長としての非力をお詫びし、設立クラブの皆様の活動に心より敬意を表する次第でございます。

地区国際奉仕 委員会

委員長 林 光雄



ロータリーにおける国際奉仕活動は、RIの定款第4条に「ロータリーの国際奉仕の目指している事は、奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」とありますが、第2760地区の国際奉仕の委員の皆さんは、本当にハードな活動を行っています。

1. 青少年交換委員会

ロータリーのいろいろな活動の中で、特に国際理解を深める、ロータリーの国際性を象徴するよう

なプログラムの一つです。交換相手国もアメリカ、カナダ、オーストラリア、ブラジル及びフィンランドと拡大されました。

2. 世界社会奉仕委員会

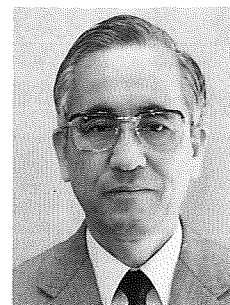
RI会長キンロス氏は、「飢餓・貧困との戦いを開始しましょう」と、また犬飼ガバナーは、「新世代の育成を目指した奉仕をしよう」と提唱されておられます。以上の点から当委員会として、(1)フィリピンとタイの両国に対して「愛知奨学金」、(2)フィリピン、タイ両国における各種プロジェクトに対する援助、(3)「ユネスコ世界寺子屋運動」の書き損じはがき回収キャンペーン、(4)ブラジルへの図書(古本)の寄贈を実施しています。

3. 国際友好委員会

趣味と職業別親睦活動、ロータリーの友情交換、国際友好に関する地区大会のシンポジウムの開催をしています。

地区青少年交換 (小)委員会

委員長 木本 精之助



前年度より引継いだ派遣、受入いずれも10名。次年度に派遣する予定の16名の学生のオリエンテーションを重ね、青少年交換は例年通りに進められたが、この年の大きな特色は次の2点。

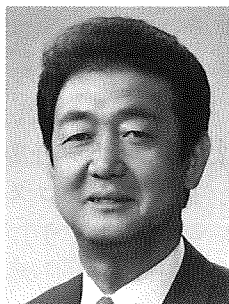
その1。数年来の期待と努力が実って、新規交換としてブラジル及びフィンランドとの交換が実現した。受け入れたVitor君(ブラジル)Hannaさん。派遣した、奥野綾奈さん(高浜ーブラジル)沢木恭子さん(名古屋瑞穂ーフィンランド)。いづれも好学生で貴重な一年を体験出来た。次年度は台湾との交換が新しく加わるになっている。

その2。青少年交換の充実を願って、「帰国学生報告会」「ホスト(RC.ファミリー、高校)三者懇談会」「ホストファミリー打合せ会」等が参加RCの要望に応じて実施され、成果をあげることが出来た。

全国的にも青少年交換の世界的な拡がりが見えてきて、インターネット、Eメールを活用した全国ネットワークが図られ、青少年交換にも新時代の到来を印象づける年度となった。

地区世界社会奉仕 (小)委員会

委員長 鶴田 欣也



1 今年度は、フィリピン第3800地区・第3810地区、タイ第3360地区に対し83プロジェクト772万円と奨学金610万円を寄付いたしました。愛知奨学金を、3地区それぞれに今後5年間にわたり、毎年200万円計1,000万円を寄付する旨の協定を締結しました。

2 プロジェクト視察とドネーションのため各RCの会員及びWCS委員がそれぞれの国に20名、計40名が両国を訪問しました。〔WCS活動視察旅行報告書〕としてとりまとめ

3 われわれの支援をより効果的にするためには、プロジェクトの数を絞り継続的に支援することが大切です。しかし、一方では先方からのプロジェクトはそれぞれの社会経済情勢を反映したものでありニーズは高いものであります。これらを如何に調整するかがプロジェクトの実施状況の検証方法の充実と合わせ今後の課題と考えます。

最後になりましたが、この一年間のWCS活動に対する各RCの御理解と御協力に感謝します。

米山記念奨学会

2760地区

特別寄付報告書 (1998年3月分)

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理事長 末永 直行

クラブ名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合計	件数
安 城	0	60,000	0	60,000	2件
蒲 郡	0	0	350,000	350,000	1件
半 田	0	30,000	0	30,000	1件
一 宮 中 央	450,000	0	0	450,000	1件
一 宮 北	1,500,000	0	0	1,500,000	1件
名 古 屋	0	0	350,000	350,000	1件
名 古 屋 東	0	30,000	0	30,000	1件
名 古 屋 名 北	0	30,000	0	30,000	1件
名 古 屋 瑞 穂	0	60,000	0	60,000	2件
名 古 屋 守 山	0	300,000	0	300,000	1件
名 古 屋 錦	0	300,000	0	300,000	1件
名 古 屋 西 南	0	530,000	0	530,000	26件
名 古 屋 東 南	0	1,050,000	0	1,050,000	4件
名 古 屋 和 合	0	240,000	0	240,000	8件
西 春 日 井	0	900,000	0	900,000	3件
岡 崎	0	30,000	0	30,000	3件
岡 崎 東	11,636	0	0	11,636	1件
岡 崎 南	0	30,000	0	30,000	1件
豊橋ゴールドン	0	1,350,000	0	1,350,000	39件
豊 橋 北	0	50,000	0	50,000	2件
豊 橋 南	0	10,000	0	10,000	1件
豊 田	0	60,000	0	60,000	2件
合 計	1,961,636	5,060,000	700,000	7,721,636	103件

新旧分区代理会議

1998年4月22日 15:00~16:00

於 ホテルキャッスルプラザ

1. 犬飼ガバナーあいさつ

- ・ニューリーダーシッププランについてロータリーも今後は組織の原理に基いた活動をせざるを得ない。
- ・新旧分区代理会議の引継ぎは初めてのこと。
- ・万博会場におけるロータリーの例会場について黒田総長と話をしたが、次年度以降本格的な取組みになると思う。

2. 内藤ガバナーノミニニーあいさつ

- ・ニューリーダーシッププランによる方式を踏襲することとした。今年度は日本で4地区しか実践しなかったが、この地区が最も完全に実行したとのことである。

3. 今年度の分区代理の活動状況について

①河合分区代理より報告

- ・年間20回位例会に出ればよいと思っていたが、今日までに120回出席した。
- ・ブレザー（緑色）を着用したことが先ず変わったことであった。
- ・分区代理訪問が様変わりした。受入れ側が緊張した。拍手による入場、クラブ協議会の実施を行った。
- ・IMは例年どおりであった。
- ・分区代理訪問は2～3回行うということだったが2回行った。IMのPRとかIMの御礼をかねた一部のクラブは3回行ってよかったのではないかと思う。
- ・分区をまとめることが大事と思った。
- ・活動に張り合いがあった。

司会（片山地区幹事）途中でニューリーダーシッププランについてアンケートを行った。

① ガバナーの合同例会方式はどうか。

50RC以上賛成

② 分区代理によるクラブ協議会はどうか。

同上（①よりも賛成が多かった）

②鈴木分区代理の報告

- ・受入れ側の姿勢がよかった。
- ・ブレザーは、はずかしかった。
- ・ちょっと忙しすぎると思う。2回、回るのは大変。
- ・各委員会からの案内が多い。
- ・仲々思うようにならないこともある。
- ・分区代理幹事は1人で十分と思った。
- ・ガバナーが行くときは、必ずしも分区代理は行かなくてもよいのではないか。

③早川分区代理の報告

- ・指示命令系統を明確にする方がよいと思う。

司会交替（岩間次期地区幹事）

- ・クラブ協議会で質問あったか。

答 あった。

- ・次年度は分区代理に地区の委員会を担当してもらう。

- ・ガバナー賞を創設した。

- ・質問が多くある。

例…子供は何才から、何才までか。ユーイズムとは何か。等

- ・ノミニニーは、一滴も飲まないの、犬飼ガバナーに比してノミニケーションが足りないが、麻雀が好き。

質問…分区代理幹事をつける必要があるか。

答…今年度は全員についた。

- ・大いに助けられた。

岩間…次年度は副幹事が各分区代理につくことになっている。

閉会のあいさつ

犬飼ガバナー

- ・RI会長賞は60クラブ以上受賞。前年度より10クラブ以上増えた。



ありがとうございました

（社）日本ユネスコ協会連盟理事

名古屋ユネスコ協会理事長 田川 清

地区ロータリークラブの皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびは「ユネスコ・世界寺子屋運動」に多大なるご支援をたまわり誠にありがとうございました。ここにお礼をかねてご報告させていただきます。

○卓話をさせていただいたRC

名古屋西RC、

国際ロータリー第2760地区国際奉仕委員長会議、

岡崎南RC、田原パシフィックRC、名古屋中RC、

岡崎城南RC、名古屋守山RC、稲沢RC、

名古屋千種RC、豊橋ゴールデンRC、田原RC、

名古屋瑞穂RC、名古屋空港RC（予定）

合計12RC 1委員会

○書き損じはがきをお届けいただいたRC
名古屋事務局へ

一色RC、名古屋大須RC、碧南RC、岡崎南RC、
瀬戸RC、名古屋西RC、名古屋名北RC、
豊川RC、田原RC、奥三河RC、渥美RC、
名古屋和合RC、小牧RC、春日井RC、新城RC、
蒲郡RC、名古屋港RC、名古屋瑞穂RC、
尾張旭RC、岩倉RC、刈谷RC、豊田三好RC、
江南RC、名古屋東山RC、名古屋守山RC、
田原RCの河辺氏、東知多RC

東京事務局へ

知多RC、半田RC、半田南RC、名古屋RC、
名古屋空港RC、名古屋名駅RC、名古屋栄RC、
新城RC、常滑RC、豊橋RC、豊橋南RC、
豊田西RC、豊山城北RC、豊橋ゴールデンRC、
高浜RC

他の機関を通してとどけていただいたRC

一宮RC 合計43RC

○募金してお届けいただいたRC

岡崎城南RC、名古屋和合RC、尾西RC、
地区ローターアクト年次大会参加者様

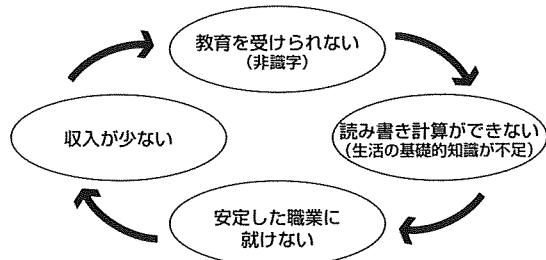
○『ユネスコ世界寺子屋運動』のビデオを見てい
ただいたRC
渥美RC

卓話をさせていただいたRC 12RC、1委員会
書き損じはがき 合計 13,300枚 43RC
募金していただいた金額 約400,000円 3RC、1団体

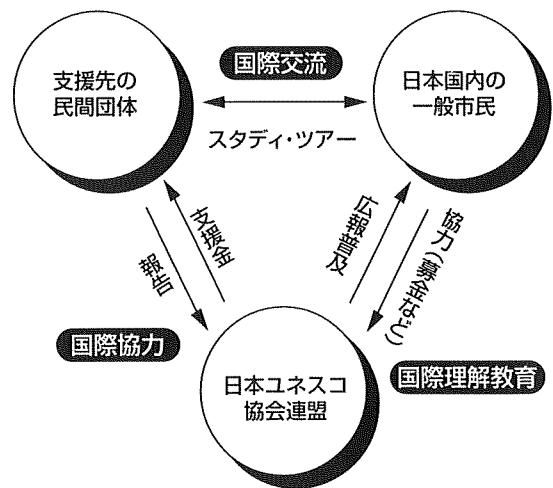
ご協力ありがとうございました。特に書き損じ
はがきは年中やっておりますのでよろしくお願い
致します。卓話もいつもお引き受けさせていただきます。

「ユネスコ・世界寺子屋運動」はなぜ必要？

発展途上国にはしばしば下の図のような“貧困”のサイクル
が存在し、人びとがこのサイクルから抜け出すことがたい
へん困難な社会構造が存在しています。この悪循環を断ち
切る一つの方法が「識字教育」なのです。



「ユネスコ・世界寺子屋運動」のしくみは？



新 ポール・ハリス・フェロー 3月分

氏 名	所属 R.C.	氏 名	所属 R.C.
松井 勝彦 (高 浜)		木村 正孝 (あ ま)	
宮島 好弘 (岡崎城南)		寛 視桂臣 (尾 西)	
落合幸一郎 (豊 橋 東)		村井 忠 (岡 崎)	
小塚 篤 (渥 美)		前田 尚孝 (東 海)	
神田 正春 (あ ま)			

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



瀬戸口 正昭様	(名古屋R.C)	4月15日
中村 美男様	(一宮R.C)	4月24日
山田 久雄様	(犬山R.C)	5月5日
市川 亮太郎様	(蒲郡R.C)	5月8日

..... お詫びと訂正

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998.4.20/ No.11

●19ページ：高浜ロータリークラブの事務所・例会場が
間違っていました。

チサンセミナーホール高浜→衣浦グランドホテル

.....

「クラブ計画書を読んで」Ⅳ

地区幹事
片山 主水



クラブ計画書の内容とは直接関係ありませんが、例会・総会・理事会・役員会について触れてみたいと思います。

5 例会・総会・理事会・役員会について

(1) 例会と総会との関係

「総会」という言葉は、標準定款には第4条第2節に「役員を選挙するための年次総会」という言葉で一回出てくるだけですが、役員選挙以外の事項を審議決定する会合について、定款第8条第2節は「理事会の指定した例会において」、同第17条第4節は「定足数を満たした数の会員が出席した本クラブの例会において」、推奨細則第14条は「定足数の出席する任意の例会において」などと表現していますから、例会と総会との区別を余り意識していないように思います。

しかし、両方とも同じように会員が寄り集まる会合ですが、例会というのはご存じのような、スピーチあり、食事あり、委員会報告あり、ちょっとした相談・決議がある、という一連の雑多な内容の押し詰まったものが例会でありますし、総会というのは、例会のある時間的な一部分で、権限とされている審議事項を審議する時だけ総会という会議体になるという関係です。

ですから、例会中の会議体の時は総会という名を特に附さなくても総会であるということ、総会は例会日以外には開催できないということ、特別の事項については何時の例会日にどのような審議事項・内容について審議するかを何日か前にあらかじめ会員に通知しておかなければならないこと、この3点を頭に入れておけばいいと思います。

(2) 総会と理事会との関係

次に総会と理事会との関係です。

選任関係と権限の分配関係です。

総会と理事会との関係がどのように定められているかということは、その団体の組織・運営・管理の基本に関するものですから、その団体の体質

を知る上において極めて重要です。

ロータリーでは、理事・役員の選出の方法は、指名委員会の指名あるいは会員の直接指名による候補者を、会員全員の投票により民主的に選出され、当選者により理事会が組織されます。（選挙により選出されない直前会長または副幹事等を理事会のメンバーとしても許されることは前にお話したとおりですが、基本的にはこの民主的な選出方法を大きく逸脱しない範囲にとどめられるべきものと思います。）

一方、権限に関しては、標準クラブ定款第8条第1節は、「本クラブの管理主体は、本クラブの細則の定めるところによって構成される理事会とする。」と規定し、同条第2節は、別に定める場合を除き、「クラブのあらゆる事項に関する理事会の決定は最終であって、クラブに提訴する以外にはこれを覆す余地はない。」と定めています。

別に定める場合というのは、総会に残された権限事項のことですが、その専権事項は、役員の選出と理事の選出、クラブ定款中クラブの名称（第1条）およびテリトリー（第2条）の改正、細則の改正のほかは、理事会の決定に対する提訴の裁定ぐらいですから、理事会への委任は広範な権限の委任と言っていいでしょう。

一般的に言って、団体の構成員が多数であればある程、各構成員が有する権限は小さくなり、反対に、団体の構成員の数が少なければ少ない程直接民主制が行なわれ易くなります。

その点からしますと、ロータリーの各クラブは極めて会員が少数ですから、基本的には直接民主制に近い組織と運営がなされている訳です。総会において全員参加の討論と決定による機会が多くあっていい筈です。

予算・決算の承認、委員会の委員長の選任の承認等は、総会の決議事項であってもよいように思われますが、実は理事会の権限になっています。

犬山ロータリークラブ

新世代のための園遊会
犬山市長を囲んで

我が犬山ロータリークラブを紹介させていただきます。

犬山市は愛知県の最北端に位置して、どうかすると手紙なども岐阜県犬山市で送付されてくるほどで、木曽川を挟んで岐阜県と隣接しています。このような地域にありながら「あいち学術研究開発ゾーン」の一角に位置し、運輸省から「名古屋・犬山観光モデル都市」、自治省から「国際交流の町」に指定されています。国内の観光客のみならず広く外国人観光客も来訪が多い観光都市です。

日本最古の国宝犬山城を中心にして、日本ライン木曽川（飛騨木曽川国定公園）、明治村、入鹿池、東海自然歩道、日本モンキーセンター、リトルワールド、成田山名古屋別院など観光資源に恵まれています。春の犬山祭り、夏の鶴飼、秋の紅葉、冬の成田山の初詣で等、四季を通じて観光客が絶えません。

一方、東名、名神、中央道の高速道路網の拠点に位置する都市近郊工業地域で、近代工業の振興も目覚ましく、また豊かな自然環境に恵まれた土地は、リゾート、レクリエーションゾーンでもあります。農業では果樹の栽培が盛んで、中でも桃の生産量は県下の26%を占めています。工業、商業、観光、住宅と自然環境とのバランスのとれた町です。テリトリー内の扶桑町は、機械工業、化学工業、商業が近代的な発展を遂げており、農業では全国的に知られている守口大根等の根菜の栽培が盛んです。

この様に恵まれた土地であり、犬山・扶桑の人口の合計は10万人で、現在犬山ロータリークラブには86名が在籍しています。年齢も最年長86歳から最年少40歳まで広く分布して、各年代別の構成もバランスよく50歳台が36名で、平均年齢は52歳です。特に出席率では100%出席が継続していて、会員各位は出席に対して高い認識を持っています。

海外のロータリークラブとは1975年に台湾の草屯ロータリーとの提携を行い、以降毎年相互の訪問を行っています。また1991年にはオーストラリアアッシュモアクラブと友好提携を行い今日に至っています。

犬山地区のボーイスカウトに対しては、1964年に設立を支援して以来今日までロータリーとして



支援を継続しています。またガールスカウトの設立も支援をし、現在8団ある犬山・扶桑地区のボーイスカウト、ガールスカウトに対して、ロータリーの全会員が育成会員として活動の支援を行っています。特に姉妹提携先の台湾の草屯扶輪社へは現在までに14回両スカウトの派遣を行っています。1997年7月には草屯クラブよりメンバーの子弟22名を受け入れて犬山のロータリアンの家庭でホームステイを行いました。8月には犬山よりボーイスカウトの台湾派遣を実施して多くの成果をあげました。

9月には『新世代のための園遊会』のホストクラブとして財団奨学生や交換学生達と明治村見学で楽しい時間を過ごしました。各学生たちも日本の文化の一部に触れ、堪能していました。きっと帰国後の大きな土産話になったことと思われます。

最後になりますが1999～2000年の地区大会のホストを務めることになりました。観光都市・犬山へ是非ともお出掛け下さい。

●犬山ロータリークラブ

創立年月日	1961年8月8日
RI加盟承認年月日	1961年11月6日
認証状伝達式	1962年6月3日
チャーターメンバー	4名
特別代表	森田 秋男氏
スポンサークラブ	一宮ロータリークラブ
事務所	犬山市大字犬山
例会場	名鉄犬山ホテル
例会日	火曜日
テリトリー	犬山市及び扶桑町



台湾 草屯ロータリークラブ 27周年

名古屋東ロータリークラブ 麻雀同好会『東風会』

名古屋東RCは、昭和34年5月の創立ですが、麻雀同好会は創立後間もなく西川一男、山田幸広、杉浦勝一、関根孝雄会員等を中心に発足し、名古屋東RCにちなみ「東風会」と名付けられ、以来、今日まで40年近くの歴史を重ねてきた同好会です。この間、平成4年5月名古屋東RCをスポンサークラブとして、名古屋昭和RCが発足され、それまで名古屋東RCでも会長も勤めて来られた八勝館の杉浦勝一さんも東風会の常連メンバーであったことから、昭和RCの同好の方々とも合同で開催することになりました。毎月一回杉浦さんの御好意を頂き春夏秋冬、変り行く季節を味わえる見事な八勝館の庭を眺めながらお茶を一杯頂き（目先の点棒が気になり味わえる余裕のない場合が多いですが）麻雀を楽しませて頂けるのも、メンバーならばこそと喜んでいる次第です。

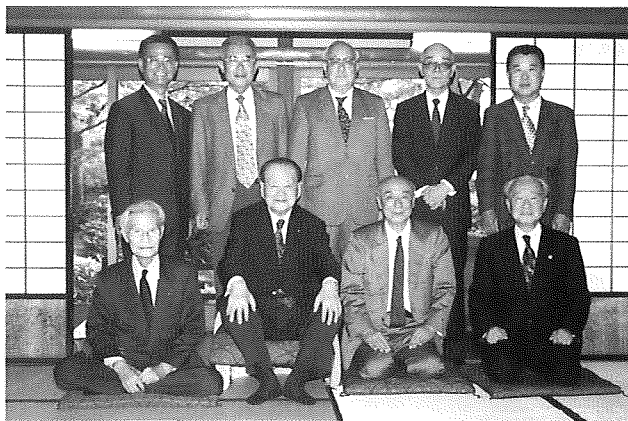
約40年の間には転勤、新入会員などの入替がありました。現在会員は名古屋東RCは16名、名古屋昭和RCは13名の合計29名です。比較的年齢層が高いのも高年齢化社会の一般的傾向に準じているせいでしょうか。発足当初はゴルフ場も少な



4月度東風会



八事八勝館庭園



4月度東風会 平成10年4月22日(水) 於 八事八勝館

く、遊びの種類も今日の様に多彩ではなくて、麻雀が結構幅をきかせていた時代ではないでしょうか。若い年齢層の方々にも大いに参加していただきたいと思っています。

忙しい方が多いため、できるだけ出席率の高い日を選んで、毎月20日前後の平日に夕刻5時から会をスタートしております。時間的に余裕のある方は少し早く来られて囲碁を楽しんでいます。手合は半荘3回戦を行います。1、2回戦は抽選による同一メンバーで行い、3回戦は得点上位者から順に組合せ、8時30分頃を終了のメドにしています。麻雀と言うと「点」いくらの賭け事と思われる方がいるかもしれませんが、あくまでも親睦を目的としているため順位を競うのみです。（順位に対する褒美はありません）

第2回戦を始めるころには人により若干のアルコールも入り、膝に八勝館特製の弁当をかかえながら役作りを楽しむ人、下りに徹する人、口で麻雀をする人等、腕を競い合っていて楽しんでいます。

年末には忘年会を兼ね、午後から麻雀、夕刻からおいしい料理を頂きながら酒を酌み交わし、一年を振り返り、成績優秀者の方のスピーチを拝聴するなど、楽しんでいます。

なお、御承知のことと思いますが、市内22RCの合同麻雀大会が、年2回（春・秋）各クラブの持ち廻り幹事で行われています。この大会も八勝館の大広間を会場にさせていただき毎回40名前後の方が参加されています。1クラブ4名以上の参加チームは団体戦の資格を得ることになっております。日頃あまり顔を合わせない方々との交流が図られ、まさにロータリアンの親交を深める絶好の機会となっています。腕に自信のある方はもちろん、若い時は良くやったと言われる方、他流試合を望む方、是非たくさんの方の参加をお待ちしております。八勝館では昔ながらの手積式の麻雀ですから手先も使います。麻雀は老化防止にも役立つと思っています。

ブラジル見聞録

ガバナー 犬飼 栄輝

5月12日から19日まで、ブラジルに行ってきました。サンパウロのR.I4430地区・森ガバナーのお招きにより、ポソスデカルダスで開かれた地区大会に出席し、大歓迎を受けました。

4430地区は今年度GSEで、研修生を交換した地区です。私たちは2760地区ロータリアンおよび家族11名、それに現地で研修中のGSE派遣チーム5名を加え、16名が地区大会に参加しました。

なおこの機会にということで、私たちは5月13日リベルターデRCに集団メークアップしました。

翌5月14日にはペルディーゼRCの例会にも揃って出席しました

また日伯文化協会を訪問し、2760地区からの寄贈図書の贈呈式を行ないました。

4430地区大会の状況や、サンパウロ市内RCの訪問については、次号で詳しく報告します。

日本から18,000km余り、ブラジルは地球のほぼ反対側にあり、面積は日本のおよそ23倍、人口は1億6千万人の大国です。ロスでの給油時間を加え、名古屋からサンパウロまでは、バリグ航空の直行便で、およそ24時間かかりました。

しかし1908年に笠戸丸（6,023トン）により本格的なブラジル移民が始まった時、神戸からサントス港までは約60日かかっています。

今年はその90周年です。現地では到着日の6月18日から、盛大な記念行事が予定され、ブラジル共和国、カルドーズ大統領も出席されます。

この節目の年にサンパウロを訪れ、私たちはブラジルが距離とは逆に一番近い隣の国であり、もっとも親日的な国であることを実感しました。

現在ブラジルにいる日系人は約130万人といわれ、そのうち50万人がサンパウロ州に住んでいるとのことです。いわゆる東洋人街にあるリベルタ

ーデRCでは、会員の約半数が日系人です。

私たちはここがブラジルであることを忘れるほど、楽しい交歓となりました。

海外でメークアップされたことのある方はお気付きでしょうが、日本のロータリーの例会はどこに行っても型通りで、学校みたいです。それも悪いことではないと思いますが、サンパウロで気がついたことを幾つかまとめてみます。

○例会の運営はすべて会長が行ないます。

○点鐘は会の始めと終わりだけでなく、会長発言の度に鳴らし、議事進行を行ないます。

○時間は不正確というか、ブラジル時間？です。

○全体的にワイワイ、ガヤガヤのフリーサイズ、無秩序のなかの秩序を感じました。要するに会員は、例会が楽しいから来ている訳です。

○1クラブは40人前後。お互よく知り合い、地域社会の「きずな」のようなものを感じました。

○私たちは、ほとんど全会員から声をかけられました。この素直さと接客マインドと、好奇心！

以上、大変勉強になりました。

ブラジルには政治、経済などいろいろ課題があることは、私たちも知っています。

しかしこの国の最大の財産は、熱帯から温帯に至る広い国土、高速道路網の充実、および明るく楽天的でダイナミックな国民性です。

それはポルトガル、アフリカ、イタリー、ドイツおよび日本などからの移住者による人種共生の文化です。ブラジルが地球規模のボーダーレス時代を先取りし、民族融合・混血文化のなかで真の平等社会を実現できれば、21世紀には文字どおり世界の一等国としてデビューするでしょう。

私たちは多くの日系人が、笠戸丸以来90年の大半におよぶ苦難の歴史をのり越えて、ブラジル社会の発展に大きな役割を果たしていることに、心から声援を送ると共に、日伯両国親善促進のため、更に努力したいと思います。

最後に日系人から聞いた印象的な話を二つ。

「日本に沢山あって、ブラジルにないもの。それは自動販売機です。理由は言いたくありません」
「ブラジルには至る処にあって、日本にはほとんどないもの。それは国旗です。国旗は独立国家のシンボルです。日本に旅行して帰った2世や3世は、一様にさびしい思いをしています」と。

事務局移転のお知らせ

1998年5月1日より事務局を下記の通り移転致しました。

- 新住所 441-2301 北設楽郡設楽町大字田口字矢高
5-7設楽町山村トレーニングセンター内
奥三河ロータリークラブ
- 例会場 は今まで通り奥三河総合センターを使用致します。
- 電話、FAXは同番号を使用します。
TEL 05366-2-1221 (FAX同番号)

奥三河ロータリークラブ
幹事 金田 直孝

事務局及び例会場変更のお知らせ

事務局及び例会場が下記のように変更になります。

- 事務局新住所 441-3400 渥美郡田原町東赤石5-74
田原めっくんはうす内
田原パシフィックロータリークラブ
- 例会場 田原めっくんはうす 2F「やなぎ」
- 期 間 1998年6月1日～12月末日 (予定)
- 理 由 華山会館改修工事の為

*事務局の電話番号及びFAX番号は変わりません。
以上ご不便をお掛けいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

田原パシフィックロータリークラブ
幹事 辻 義郎

文庫通信 128号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料 (貸出可) など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新世代に関する資料

- ◎「新会員教育実施要領」 R.I. 1995 6頁
[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「新世代のためのロータリー会議」 R.I. 1995 4頁
[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリー情報資料集」 R.I. 1996 22頁
[申込先 サービス・センター TEL (03) 3355-5391]
- ◎「子どもに思いやりの心を育てるには 新世代フォーラム」 1997 28頁
本郷宣雄・石川晃・伊東英俊 他3名 [申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「『新世代会議』報告書1996～1997」 D.2660 1997 56頁
[申込先 D.2660 TEL (06) 577-2660]
- ◎「新世代会議報告書」 名古屋西R.C.・名古屋名駅R.C.・名古屋西南R.C.・名古屋港R.C. 1997 19頁
[申込先 名古屋港R.C. TEL (052) 586-2955]
- ◎「新世代の育成と継承」 笹山竹義 1997 14頁
[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「『新世代のためのロータリー会議』総集編」 D.2780 1997 64頁
[申込先 D.2780 TEL (0463) 91-2780]
- ◎「第18回熊本市中学生弁論大会文集」 熊本R.C. 1998 48頁
[申込先 熊本R.C. TEL (096) 354-4521]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

ロータリー文庫

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
尾張第一分区	半 田	100	4	68	72	4
	常 滑	96.11	4	71	74	3
	東 海	98.71	5	59	62	3
	東 知 多	100	3	67	71	4
	半 田 南	99.38	5	69	71	2
	知 多	98.66	5	49	47	-2
	6 R C	98.81		383	397	14
名古屋第一分区	名 古 屋	97.52	5	221	235	14
	名 古 屋 西	97.70	4	142	152	10
	名 古 屋 南	99.17	4	127	134	7
	名 古 屋 港	100	4	128	130	2
	名 古 屋 東 南	99.68	4	89	93	4
	名 古 屋 中	99.75	5	162	172	10
	名 古 屋 瑞 穂	100	4	102	102	
	名 古 屋 大 須	98.97	4	101	101	
	名 古 屋 栄	99.03	5	80	83	3
	名 古 屋 名 駅	97.75	4	102	111	9
	名 古 屋 名 南	96.84	5	89	88	-1
	名 古 屋 西 南	100	4	54	57	3
	12 R C	98.87		1,397	1,458	61
名古屋第二分区	名 古 屋 北	99.01	4	112	110	-2
	名 古 屋 東	96.13	4	114	115	1
	名 古 屋 守 山	97.09	4	86	86	
	名 古 屋 和 合	100	4	108	115	7
	名 古 屋 名 東	99.52	5	83	83	
	名 古 屋 名 北	100	4	71	77	6
	名 古 屋 千 種	98.78	5	65	70	5
	名 古 屋 昭 和	98.95	4	69	75	6
	名 古 屋 錦	100	5	64	67	3
	名 古 屋 東 山	98.64	4	54	57	3
	10 R C	98.81		826	855	29
東尾張分区	瀬 戸	100	4	82	87	5
	犬 山	100	5	83	87	4
	江 南	99.65	4	73	76	3
	小 牧	98.93	4	72	75	3
	春 日 井	100	4	81	81	
	尾 張 旭	99.63	4	66	67	1
	名 古 屋 空 港	99.39	5	68	70	2
	瀬 戸 北	100	5	69	71	2
	岩 倉	96.16	4	41	39	-2
	豊 山 一 城 北	95.04	5	57	57	
	10 R C	98.88		692	710	18

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
西尾張分区	一 宮	99.46	4	92	95	3
	津 島	100	4	87	91	4
	尾 西	98.47	4	61	63	2
	一 宮 北	99.70	4	84	83	-1
	稲 沢	96.69	4	65	71	6
	あ ま	99.23	5	104	104	
	西 春 日 井	100	5	64	67	3
	尾 張 中 央	100	4	50	54	4
	一 宮 中 央	98.65	4	75	74	-1
	9 R C	99.13		682	702	20
東三河分区	豊 橋	98.76	4	133	134	1
	蒲 郡	94.92	4	76	76	
	豊 橋 北	99.42	5	112	113	1
	豊 川	95.06	4	80	80	
	田 原	100	4	72	72	
	豊 橋 南	99.05	5	73	72	-1
	新 城	96.87	4	68	66	-2
	渥 美	90.19	4	65	67	2
	奥 三 河	93.57	4	39	43	4
	豊 川 宝 飯	95.56	5	67	66	-1
	豊橋ゴールドデン	99.05	4	83	82	-1
	田原パシフィック	96.32	5	76	76	
	豊 橋 東	100	4	37	42	5
	13 R C	96.83		981	989	8
西三河第一分区	岡 崎	99.76	4	121	123	2
	豊 田	98.73	4	93	98	5
	岡 崎 南	99.02	4	115	114	-1
	豊 田 西	99.80	5	97	106	9
	岡 崎 東	99.72	4	93	101	8
	豊 田 東	96.80	4	97	99	2
	岡 崎 城 南	100	4	77	80	3
	豊 田 三 好	99.43	5	35	37	2
	8 R C	99.16		728	758	30
西三河第二分区	刈 谷	100	5	85	96	11
	安 城	94.49	4	91	95	4
	西 尾	98.84	5	76	76	
	碧 南	100	4	80	82	2
	一 色	100	4	51	50	-1
	高 浜	97.64	5	55	55	
	知 立	100	4	57	62	5
	西尾KIRARA	98.96	4	72	72	
	8 R C	98.74		567	588	21

地域内クラブ数 76RC

'97.7.1会員数 6,256名

増 加 会 員 数 217名

当月末会員数 6,457名

減 少 会 員 数 16名

当月平均出席率 98.65%

差引純増会員数 201名